

かさおか

発行所
天理教笠岡大教会

かさおか編集掛
笠岡市用之江377
郵便番号714-0066
(0865)
電話 66-1311
FAX 66-1314



椿

初代の心にかえり信仰の喜びを
深めよう 伝えよう 広げよう
一、持ち場立場で日々理作り
一、家族揃って教会参拝
一、一日一件にをいがけ

立教172年
1月号

立教百七十二年

明けましておめでとうございます

昨年は皆様の真実の心寄せにより一年間結構に滞りなく御用を勤めさせて頂く事が出来ました。中でも秋の大祭に併せての別席ひのきしん団参には大勢の方に参加して頂き、初席に中席にと運んで頂く人、又回廊拭きひのきしんに汗を流して頂く人等、共々に喜びを分かち合わせて頂きました事は誠に嬉しい限りで有りました。ありがとうございます。

明けて今年から立教百七十四年十一月三十日の創立百二十周年に向けて、三年千日仕切つての新たな成人の歩みが始まりました。

初代の心にかえり

信仰の喜びを 深めよう

伝えよう 広げよう

- 一、持ち場立場で日々理作り
 - 一、家族揃って教会参拝
 - 一、一日一件にをいがけ
- を申し合わせ、共々に勇んで

成人の歩み進めさせて頂きましたと思います。

今、世上は世界的な経済不安の中にあり、大きく心の変革を求められています。正に今、お道が求められている時代と言っても過言ではありません。笠岡に繋がる皆様方には、そんな気概を持ち、どうぞ申し合わせに込められた思いをお汲み取り下さいまして、今年一年、一手一つにお勤め下さいます事をお願い申し上げます。新年の挨拶と致します。

笠岡大教会長

上原理一

立教172年

各部会の抱負

及び

年間行事予定

この項は一月二十日、大教会年頭会議において配布された小冊子『立教172年 年頭会議各部会の抱負及び年間行事予定』の再掲です。

布教部

笠岡大教会では、教祖120年祭後、「教会の最大の使命は、おつとめと布教である」とのお言葉を受けて、各教会で「おつとめ奉仕者の増員」を合言葉に、日々親神様に受け取っていただける理づくりに、布教活動に又よぶべく、信者の修理丹精に一手ひとつに努めさせていただいてまいりました。2年目の昨年は、久々に10月の秋季大祭に合せての別席ひのきしん団参が実施され、378名の帰参者、そのうち69名の方が別席(初・中・満)を運ばれました。因みに昨年の人づくりの成果は、一昨年に比べますと、教会長・布教所長をはじめ、皆様方の丹精により、初席者・おさづけ拝戴者は微増、修養科生・検定講習生前期は減少に転じまし

た。大教会長様にご安心いただくという上では、少し残念な結果になりました。只、結果も然る事ながら、なんでもどうでもの精神で一年間歩んだプロセスが尊いんだという観点からみれば何も数字の増減で一喜一憂するものでもございません。しかしながら、教勢のバロメーターとして如実に示していることも否めません。布教部のバックアップも足りなかったと反省致しているところでございます。今年は全教会が心定め完遂を目標に奮起させて頂きましょう。

扨て、ご承知のように、昨年暮、平成23年11月30日に迎えます笠岡大教会創立120年の記念祭に向けて「初代の心にかえり、信仰の喜びを、深めよう、伝えよう、広げよう」の活動のローガンと3つの実践項目が発表されました。詳細については、年頭会議で大教会長様よりお話がございす。更には、2・3月の部内巡教で周知徹底されることになっております。

申すまでもなく、この活動目標によって昨年までと違った動きをする訳ではございません。あくまでも次なる成人の塚に向かって、各教会のおつとめ奉仕者の増員が目標であります。活動目標が絵に描いた餅にならないようにしっかりとねりあ

い話し合いの上、教会長を先頭に全よぶべく信者が実行あるのみであります。そうした上から今年の教会長講習会では、大教会初代会長上原さと様そして、先人達の白熱的な信仰姿勢等を学ばせていただくために、大教会史・活動目標のねりあいの時間を設けています。又、おたすけの一助になればと、以前アンケートで最も要望の多かった精神障害をテーマにした基調講演・質疑応答という内容で計画しております。

6月28日の「若人の集い」は、おぢばで開催された後継者講習会修了者を対象に開催の予定ですが、創立記念祭実行委員会から、対象者の枠を広げてはとの意見もあり、現在検討中であります。更には九月布教強調の月、最初の一週間、昨年と同様青年会と合同で、神名流し・戸別訪問・路傍講演を予定し、全体行事として10月25日26日と別席ひのきしん団参が実施されます。今年は実行委員会の発足により、委員会の動向に合わせて、活動を進めさせていただくことになると思えます。どうか今年も日々ご存命

の教祖にお喜び頂けるよう、ご安心いただけるよう一手ひとつに明るく勇んでつとめさせて頂きましょう。なにとぞよろしくお願いたします。



◎年間行事

1. 立教172年 教会長講習会

テーマ 「おつとめ奉仕者の増員」
日 時 2月26日
午後1時30分 受付
2時 開講
27日正午 閉講

講 場 笠岡詰所
講 師 芦津部属 理風りふう分教会長・
天理やまと文化会議議員
井上 隆文 先生

内 容 ○おたすけ勉強(精神障害を中心
にした講話・質疑応答)
○笠岡大教会史
○ねりあい(スローガン・実践項目)

対 象 教会長

受講お供 3,000円(受付で納めて下さい)

※身上等でやむなく欠席の場合は、その理由を必ず大教会長様に連絡して頂くようお願い致します。

※26日午後、井上先生の「精神障害」の講話を聴講希望の方は遠慮なくお越し下さい。

2. 立教172年 全教一斉ひのきしんデー

期 日 4月29日

※参加の声掛けを(特に教会と離れた地域に住まうよふぼくに所属教会から積極的な声掛けをするようお願いいたします)

3. 「若人のつどい」

期 日 6月28日

場 所 笠岡大教会

対 象 後継者講習会修了者

※対象者が変更する場合があります。詳細については決定次第発表しますのでよろしくお願ひ致します。

4. 全教一斉にをいがけデー

・ 9月28日(月) 全教会長 路傍講演の日

・ 9月29日(火)・30日(水)

全よふぼく 実動日

・ 9月は布教強調の月です。今年も8月下旬(土・日)から9月上旬(土・日)の一週間、青年会と合同で路傍講演・神名ながし・戸別訪問・ひのきしん等、計画しております。

海外部

タンザニア人医師よふぼく誕生!

上原次長タンザニアへ

昨年12月26日、福山港より救援衣料のコンテナを積み込んだ1隻の船が、アフリカのタンザニアへ向けて出港しました。コンテナには865カートン(岡山教区:655、広島教区:210)みかん箱にして約220箱の幼児から成人までの衣類、毛布、靴、かばん、文具などが満載されています。これらの大量の物資は教区内の各支部を通して寄せていただいたもので、1ヶ月以上の船旅を終えた後、孤児や恵まれない人々のもとに届けられます。物資が着くころには派遣員がタンザニアまで出向いて直接衣料を手渡しする計画になっておりますが、その中には上原志郎海外部次長を始め笠岡大教会につながる学生と看護士の二人が含まれております。次長一行は1月26日夜、今回の衣料救援の先発隊としてアフリカに向けておちばを出発します。

この衣料救援は、毎年岡山教区国際救援委員会(平野恭介代表)が広く呼びかけ実施されているもので、広島教区青年会の協力も頂いておりますが、今年の物資がタンザニアへと向かっていることにはある理由があります。じつは、現地受け入れ機関でもあるNGOの「ORES: Orphans Relief

Services(孤児救済奉仕)代表マunga博士は、昨年末におさづけの理を拝戴したばかりの「よふぼく」なのです。なぜ、マunga医師が笠岡の理につながるよふぼくとなったのかは、神戸で彼にをいがけをした上原次長より後日、タンザニアでのおたすけや衣料救援活動の様子などと合わせて詳しく報告させていただく機会があればと思いますので、どうぞご期待ください。

海外部の活動

海外部では「かさおか」や「陽気」、あるいは「人間いきいき通信」英文「TENRIKYO」等を定期的に海外に郵送、また台湾やアメリカへの訪問などを通して外国在住のよふぼく信者の方々への丹精をさせていただいております。昨年春には、田中部長・上原次長によるアメリカ在住のよふぼく家庭訪問をさせていただきました。地道ではありますがこのような活動により、最近ではアメリカから大教会宛に毎回お供えを送って下さるよふぼくもご守護いただいております。

また、毎年夏に開催しております英語講習会に向けてインターネットを利用しての英会話や英語教材勉強会の開催に加えて、毎月の例会にて海外事情の勉強もさせていただいております。

教内で最長・最古?の伝統を誇る 「英語講習会」

昭和43年に始まった英語講習会は今年で67回を数えます。

私は中2の夏、13歳のとき第3回英語講習会に初めて参加して大きな衝撃を受けました。

田舎では外国人を見るのも珍しかった当時、たくさんの方々と同じ大教会内で生活を共にしながら英語を教えてもらった感激と真摯な態度で受講生に接し英語を自由に操る多くのスタッフに新鮮な驚きを感じたからです。

「いつかあんな風にかっこよく英語を話したいなあ」という熱意を心に秘め、以来ずっと参加し続けています。

さて、一昨年から参加対象者を小学校高学年までに広げたため一層賑やかで楽しい講習会に生まれ変わりました。昨年の第66回英語講習会は、本部から天理教語学院講師ギャビン・ダムロン氏(28歳・シアトル出身・撫養部属)を派遣していただき、8月7日、8日の1泊2日の日程で開催いたしました。参加者は30名(内スタッフ14名)でした。

私が大学1年生だった昭和49年の夏には165名が参加していますので過去をご存知の方々には少し寂しいようですが、「英語」を冠する講習会が途

切れることなく66回も続いているということ自体が驚異なことだと思えます。

「英語を学ぶことは言葉を学ぶこと、つまり相手の心を学び、お互いが理解し合える方法を身に付けることです」

と、大教会長様よりお聞かせいただいたように、英語講習会も「にをいがけ、おたすけ」の一環であり、その根底には世界たすけへの熱い思いがこもっているのです。

このような親の思いのこもる講習会が1泊2日間、おいしい食事におやつも付いて1500円(宿泊費、食費、レッスン料オール込み)という驚きの参加費で受講できるのは、大教会長様を始め、諸先生、奥様方の親心以外の何物でもないと思います。

参加対象者は小学生高学年以上、中学生、高校生、また大学生、専門学校生や一般の方がアシスタントスタッフとして受講されることも歓迎いたしますので、是非受講のお声掛けをして下さると同時に、今後ともご協力ご指導下さいますようお願い申し上げます。

以上海外部活動の簡単な紹介をさせていただきました。
(海外部員 香取雅人)

管 理 部

大教会創立百二十周年を3年後に控え、今から庭・植木等環境を整理し、気持ち良く記念祭が迎えられる様にさせて頂きたいと思えます。

活動実施日は、その都度発表させて頂きますので老若男女を問わず一人でも多くひのきしんに御参加下さいますようお願い致します。

- 6月頃 墓地垣根 植え替え
- 10月頃より 植木剪定
- 12月22日 大教会大掃除
- 松枯れ伐採

婦 人 会

創立百周年に向かう仕上げの年です。成人目標・活動方針・スローガンを心に、日々信仰信念を培い、信仰の意識改革をすすめて、百周年には会員誰もが今よりも一歩でも一歩でも成人させて頂き、おたすけのできる用木にならせて頂きましよう。

成人目標

ひながたをたどり

陽気ぐらしの台となりましよう

活動方針

創立百周年を目指して 元をたずね

家庭の台教会の台となりましよう

- 一、教えを基に自らの信仰心を培う
- 一、おつとめに心を込める
- 一、にをいがけ・おたすけに励む

スローガン

一人の会員が

一人の別席者をご守護頂きましょう

◎年間行事予定

- 2月から6月 全委員部巡回
 - 2月21日・22日 委員・直轄委員長研修会
 - 4月19日 婦人会本部 第91回総会
(式典・おつとめ・支部の行事)
 - 5月から8月 創立百周年婦人会員決起の集い
(地域会場で開催)
 - 8月23日 こかん様につづく会
 - 9月22日 委員長後継者講習会
 - 10月25日・26日 婦人会別席団参
(創立百周年別席月間)
- 10月10日～11月30日

・原・稿・募・集・

内 容

①小随筆 ②教会・布教所の独自の活動の紹介
③俳句・和歌・川柳 ④教会行事開催後の報告記事 等々

字 数

1000字前後(800字～1200字)

題名・所属教会名・氏名を明記して下さい。
俳句等は1句からでも結構です。

寄 稿 先

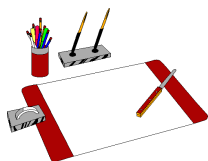
下記、大教会内『かさおか』編集掛宛ドシドシご寄稿下さい。

郵 便：〒714-0066 岡山県笠岡市用之江377

F A X：0865-66-1314

メール：tenkasa@yahoo.co.jp

尚、原稿はお返し致しませんので、予めご了承下さい。



青年会

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、青年会活動の上に、多大なるお力添えを頂き、誠にありがとうございました。

本年もより一層お力添え頂きますよう、よろしくお願い致します。

さて、昨年開催されました「天理青年一手一躍進の集い」では、笠岡大教会につながる会員・OBなども、それぞれの会場に足を運び、勇みの種を頂くことができました。私たちは、この「躍進の集い」で得られた成果と反省点を踏まえ、本年の活動を展開させて頂きます。

青年会層は、それぞれ持ち場・立場が様々です。笠岡大教会創立120周年に向けて、お打ち出し頂いている活動指針の一つ、『持ち場立場で日々作り』に沿えるよう、会活動の内容充実を図っていききたいと思います。

本年の分会活動は、

◎おやさとしん青年会ひのきしん隊

..... 5月1日～24日

『一手一つに、朗らかに、あらきとよりょうひのきしん』を掲げ、親里でのひのきしんを通して、自分の心の成人、「心のふしん」をさせて頂ける場があります。隊中には、お手ふり、鳴物、雅

楽などの修練や、にをいがけ、月次祭まなびなどが行われます。

1ヶ月という長期間ですが、必ず大きな勇み心を得る事ができ、何よりもちばへの伏せ込みになります。

一人でも多くの方と、おちばでひのきしんをさせて頂きたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

◎ひのきしん団参..... 5月30日～31日

おちばへ真実を伏せ込ませて頂きたいの思いから、ひのきしん団参を企画させて頂いています。それぞれ教会や地域でのひのきしんの機会はあると思いますが、ぜひこの機会にご参加頂き、笠岡の仲間と共に汗を流し、親神様・教祖にお喜び頂きましょう。

◎全分会布教推進週間..... 8月30日～9月6日

常時の布教活動定着を目指し、毎年一週間にわたり、各教会・ブロックごとに、戸別訪問、リーフレット配り、神名流し、ひのきしん等の活動を展開させて頂いています。

青年会活動において、「布教」は、大きな要であります。一人でも多く、一日でも長く、参加いただけますよう、お願い致します。

◎第85回 天理教青年会総会..... 10月27日

総会は、会員が一堂に会し、青年会長様より直々に、会活動を進めるにあたっての心構えをお示し頂く、青年会員にとって年に一度の決起の場であります。

10月27日は、青年会員として決して欠かしてはならない日として、会員同士が声を掛け合い、一人でも多くの笠岡の仲間と共に、おちばに帰らせていただきますよう。

◎青年会笠岡分会総会..... 11月22日

新委員会発足という新たなスタートを切る本年、笠岡につながる会員が参集し、今後、活動を展開していく上での決意を誓う場であります。

普段、国々所々にいる会員お互いが、大教会に足を運び、顔を合わせるまたとない機会でもあります。遠近を問わず、一人でも多くの方に、また、青年会を知らないような方にも、ご参加頂きますよう、お願い致します。

以上、活動予定とお願いを申し上げます。どの活動も、より多くの参加者を与えて頂きたいのは、申すまでもありません。しかし、外に向かった活動だけではなく、心の成人、内面の開拓も忘れず、内と外の両方に若者らしく進むという心がけを持って、通らせて頂きたいと思えます。

どうぞ皆様のお力添えを頂きますよう、重ね重ねよろしくお願い致します。

少年会

子が満足して親と言う。どんな事も、成らん処育てるが親の役、親が腹を立て、はともならん。これをよう聞き分けてくれ。

(おさしづ 明治31年11月13日)

色々な意味で親の立場であるお互いは、次代のお道を担う人材の育成をすることが大切なつとめです。三つ子の魂百までと申します。特に幼少年のころからの正しい育成を中心に今年も縦の伝道に力をいたしましょう。夏のこどもおちばがえりが活動の頂点ですが今年是一年間を通じて「教会おとまり会」の実施を重点に置いた活動をお勧めいたします。

○鼓笛合宿・・・3月30日～4月1日

・こどもおちばがえりのお供え演奏曲の練習を主体にした合宿。

・幼児でもお母さんといっしょに参加であればOK。

・おつとめの練習、お楽しみ行事もありますよ。

○おつとめまなび総会・・・4月1日

・教会おとまり会などで練習した成果を親神様・教祖様にご覧いただきます。

・将来のおつとめ奉仕者を育てよう。

・わかぎ門出式も合わせて行い、午後はお楽しみ行事もあります。

○縦の伝道講習会・・・6月21日

・少年会本部委員の縦の伝道についてのお話を祭典講話として開催。

・少年会員の育成をする上での角目を勉強しましょう。

○教会おとまり会強調デー・・・8月22日～24日

・7月と8月がおとまり会の強調月ですがその内でもこの3日間を「強調デー」として教会の希望により少年会委員が出向き指導します。

学生担当委員会

平成20年度

天理教学生担当委員会 活動方針

基本方針

「お道の素晴らしさ、教祖の御心、

たすけ心を学生へ」

重点活動項目

一、学生生徒修養会への教会長子弟、初参加者増員に向けての働きかけ

一、高校生の集い「まなびば」をはじめとする、

教区での育成活動の充実

一、人材育成の旬に、全教区・全直属での学生層育成者講習会の開催

(21年度の活動方針は、1月末に発表の予定です)

大教会の年間行事について

○学生層育成者講習会

・・・2月21日 大教会にて開催
学生層をはじめとする道の後継者育成の大切さを広く理解していただくため、月次祭の祭典講話として毎年開催させていただいております。本年の講師は、谷澤茂男先生(本部学生担当委員会・学生生徒修養会部委員、本理世大教会部属本芝房分教会長)です。

○春の学生おちばがえり・直属アワー

・・・3月28日 本部にて開催
「テーマ」世界の友にをやの思いを

♪今、心を一つに!!

毎年3月28日、お道につながる全ての学生がおちばに帰り集い、真柱様からいただくお言葉を指針として今後の成人を誓い合う「春の学生おちばがえり」が開催されます。直属アワーでは、大教会長様のお話・親睦行事・会食などが行われ、笠岡につながる学生生徒たちが親交を深めます。参加にあたりましては、各教区が企画する団参をご利用ください。

道の学生成人目標

- 一、生かされていることに感謝しよう
- 一、お道の素晴らしさを伝えよう
- 一、進んで教会につながろう

○おぢば管内の学生の集い(本年は未定)

..... 詰所にて開催

おぢば管内で学ぶ学生を対象に行う親睦行事です。大教会長様にもお越しいただきお話を頂戴します。是非ご参加下さい。学生には案内を出しますが、こちらで把握できていない学生もありますので、おぢば管内で学ぶ学生がいらっしゃればお知らせ下さい。

○富士山登山..... 8月26日〜28日

「富士は日本一の山」と歌われるように日本人なら誰でも登ってみたい山。登頂は困難を極めるかもしれませんが、その後には湧いてくる充実感・達成感・満足感を学生時代に味わうことは、きっと素晴らしい体験になると思っています。

その他おぢばで開催される主な行事

○学生生徒修養会 高校の部・8月9日〜15日

大学の部・3月3日〜9日

日頃おぢばがえりをする機会の少ない高校

生が夏休みを、大学生が春休みを利用して全国各地から親里に集い、一週間の合宿生活を通してお道の信仰に目覚め、その後の歩みの上に役立つよう工夫された行事です。ほぼ全員の学生が「参加してよかった」「また来年も参加したい」と言う行事で一週間で学生が見事に変身します。

○おせち学生ひのきしん隊・1月4日〜7日

新春、おぢばでの恒例行事「お節会」に際して、会場内の整理・誘導・接待・洗い方などのひのきしんや親睦行事を通して、同じお道を歩む仲間が、ひのきしんや信仰について、また普段それぞれが思うことを語り合ったりと3泊4日の貴重な合宿です。対象は高校生・大学生・短大生・大学院生・専門学校生です。申し込みは各教区の学生担当委員会へ。

教区行事(主なもの)

○春の学生おぢばがえり

○高校生の集い「まなびば」

同じ地域に住むお道につながる仲間同士が、お道の教えにふれ、少しでも教えに基づいた生き方を身につけてもらえるよう開催している行事。

○道の学生ひのきしんDAY

全国各地で、約2000人の学生がひのきしんに励みます。昨年は9月7日に「さあ、広げよう！感謝と喜びの心を」をテーマで実施され、1942名が参加。

定期刊行物

○はっぴすと(高校生・大学生育成のための月刊誌。平成20年4月号より、大学生・専門学校生まで対象が広がりました。)

天理教学生会ホームページ

..... <http://www.tsa.gr.jp/>

雅 鶯 会

○雅楽勉強会..... 2月28日(土)〜3月1日(日)

今年も日本最古の音楽を勉強してみませんか。

対 象 初心者・初級者(少年会員、一般)

内 容 初心者は、雅楽の基礎から勉強

を、また初級者は、二日間で平

調の越殿楽が合奏できるよう勉

強します。

参加費 500円

※楽器は各自持参ですが都合がつかない人はご相談に応じます。

後継者の育成を！

高屋分教会

布教寮生を迎え若人の集い開催

高屋分教会では11月23日「高屋若人のつどい」を開催、40名が参加した。

これは大教会の「道の後継者の育成」という活動指針を受けて、高屋分教会につながる若い人達を少しでも育てさせて頂こうと毎年実施されているもの。

今回は、布教専務で通っている同年代の人達の考え方、日々の通り方などを参考に今後の生活に何か役立てていこうと布教の家岡山寮生、梶川和人(芦津大・28歳)野中謙伸(高岡大・26歳)末弘健司(周東大・25歳)の三氏を講師に迎え開かれた。

武内正美同会長が「今日参加させて頂けたのも、自らの心が働いたからで、すべて人間は心通りの姿をご守護頂ける。その心作りを勉強して頂きたい」とあいさつ。この後、三氏より布教の家入寮のきっかけ、また日々の布教生活の中でさまざまな体験を通して味わった信仰の喜びなどの感話が行われた。



講師の感話に熱心に聞きいる参加者

引き続き、参加者を4班に分け寮生を中心に、○信仰の出発点○天理教のイメージ○にをいがけの必要性——などをテーマに活発なねり合いが進められた。この後、寮生と共に焼き肉で会食。

参加者の1人は「自分と歳があまり変わらない人達が毎日、昼食抜きで、布教寮生でありながらをいがけが好きになれない自分と葛藤しながらも通っておられる話を聞き、今一度自分自身を見つめ直して、自分らしい通り方を見つけていきたい」と話していた。

談話室



第六十回 正倉院展

昨年十一月上旬のある日、私は第六十回正倉院展を観るべく、近鉄奈良駅の改札口を出た。そのすぐ左側に正倉院展前売券売場が仮設されており、電車から降りた多くの人々がすでに行列をなしていたが、その中の一つの列の最後尾に並んで待っていた。

「あのー、失礼ですが正倉院展へ行かれるのでしょうか」

突然私に声をかけてきた中年の御婦人があった。

「ハイ、そうですけど何か？」

「それならよかったらこのチケットを使って下さい」

「エッ？」

私は一瞬ダフ屋の類かと疑ったが、そうでもなさそうだ。その御婦人は身なりもきちんとしていて、言葉遣いも鄭重だった。

「このチケットは読売新聞社の招待券です。私の連れが来なかったものですから、一枚余分になりました。どうぞ御遠慮なくお使い下さい」

笠岡五人衆四小間劇場

第四回「忘れられた鼠」



つづく

私は見も知らぬその御婦人に御礼の云いようも

と教えて頂いている。(匿名寄稿)

「それはありがたいのですが、いくらお払いしたらよろしいでしょう」
 「そんなものは要りません。どうぞお使い下さい」
 私は半信半疑でそのチケットを受取り、ジッと見ていたが、フト我にかえるとその御婦人はすでに雑踏の中に消えていた。
 それでもまだ私は、このチケットは本物だろうかと疑っていたので、前売券売場の係員に見せて、「これは本物でしょうか」
 しばらくみていた係員は、
 「間違いなく本物ですね」

ないことになってしまった。おかげで心温かく楽しく正倉院展を観ることができたものの、さてどうしたものか、御礼の云いようもない、仕様もない。しかし、考えてみればそんなに悩むことでもない。親切には親切で返せばいい。それはいつでも、どこでも、誰にでもいい、困っている人に手をさしのべればいい。
 親切——お道の者にとっては当然のことではないか。
 前真柱様からは、底なしの親切と教えて頂いている。

こころの詩

東悠分教会前会長夫人 田林美智子さん
 久に訪う竹馬の友は年ふりて
 守護を語らい冬しのび寄る
 心して賀状した、むこの一年
 無沙汰なる老師は如何におわすや

▼表紙の絵

福満分教会前会長夫人 福島悦子さん

▼4コマ漫画

大教会 上原元子さん

笠岡大教会 年間行事 予定表

部会 月	婦 人 会	青 年 会	少 年 会	学 生 会 学生担当委員会
1				
2	21・22 委員・直轄委員部長研修会			21 学生層育成者講習会
3				28 春の学生おぢばがえり 後夜祭 (直属アワー)
4	19 婦人会本部総会		30~1 鼓笛バンド講習会 1 おつとめまなび総会	
5	5月1日~8月31日 婦人会創立100周年 会員決起のつどい	1~24 一ヶ月ひのきしん隊 24 ソフトボール大会 ひのきしん 30・31 ひのきしん団参		
6			21 縦の伝道講習会	
7				
8	23 こかん様に続く会	30~6 全分会布教推進週間	22~24 教会おとまり会強調デー	26・27 富士山登山
9	23 委員部長後継者講習会			
10	10月20日~11月30日 創立百周年別席月間	27 本部青年会総会		
11		22 笠岡分会総会		
12				輸 送 部
備 考	◎支部例会(毎月3日午前10時) ◎直轄委員部長連絡会(毎月次祭後) ◎女子青年例会日(毎月第4日曜日) ◎ひまわり会(毎月1日、4月のみ5日) ◎女子青年神饌物洗ひのきしん (毎月19日)	◎大教会ひのきしん 毎月19日 午前9:00~	○教会おとまり会の実施	1月25~27 春季大祭参拝 4月17~19 教祖ご誕生祭参拝 7月26~4 こどもおぢばがえり 10月25~27 秋季大祭参拝

立教 1 7 2 年(平成21年/2009年)

部会 月	全体行事	ひのきしん	布 教 部	海 外 部
1	4~18 直轄教会春季大祭参拝 20 年頭会議	21 献血ひのきしん 25~27 春季大祭詰所受入		
2	2~15 部内巡教	16~28 本部食堂(島根ブロック)	26・27 教会長講習会 28・1 修養科修了講習会	
3	28・1 雅楽勉強会(初心者・初級) 2~15 部内巡教			
4		17~19 教祖ご誕生祭詰所受入	29 全教一斉ひのきしんデー	
5	4~18 直轄教会定期巡教 24 大教会長杯 親善大ソフトボール大会	1~15 本部食堂(上府ブロック)	28・29 修養科修了講習会	
6			28 若人のつどい	
7		1~25 直属ひのきしん特別隊 16~31 本部食堂(直1ブロック)		
8	26~4 こどもおぢばがえり	25~4 こどもおぢばがえり詰所受入 1~20 直属ひのきしん特別隊	28・29 修養科修了講習会	7・8 英語講習会
9		境内掛交替	1~30 布教推進強調月間 28~30 全教一斉にをいがけデー	
10	4~18 直轄教会秋季大祭参拝 25・26 別席ひのきしん団参	1~15 本部食堂(直2ブロック) 25~27 秋季大祭詰所受入		
11			28・29 修養科修了講習会	
12	20 心定め提出 22 年末大掃除	27 詰所餅搗		
備 考	◎常詰会議 毎月29日 午前10:00 ◎役員会議 毎月29日 午後 1:00 ◎連絡会議 毎月29日 午後 2:00 ◎直轄教会長の集い 毎月20日 午後 2:00 ●雅鶯会練習 毎月次祭前日夕勤後 舞楽練習 随 時	註：ブロックの区分けは 直1：鶴山～明石市 直2：久松、東城～錦備 上府：上下、府中市	◎おかえり講話 1月25日、4月17日、 10月25日 いずれも午後 7:00	◎月例勉強会(毎月21日) ◎『英文かさおか』発行 ◎海外よるぼく月報

※役員並びに直轄教会長会議：2月は末日、4・7・9・12月は20日(直轄教会長の集いに替えて行なう)

第 8 1 5 期 修 養 科 募 集 要 項

* 修養科期間

立教172年3月1日～5月27日

* 教 養 掛

3ヶ月間 門 脇 元 教 (大教会准役員・島根分教会長)
 1ヶ月目 田 林 久 嗣 (東 悠 分教会長)
 2ヶ月目 竹 本 和 道 (福 芦 分教会長)
 3ヶ月目 藤 本 芳 久 (東水島分教会長)

* 募集要項

- ・ 志願者は、3月末日現在で満17歳以上で、下表の必要書類を携え、上級教会を經由して大教会に順序参拝すること。
- ・ 2月25日までに笠岡詰所に入所し、教養掛の面接を受けること。
- ・ 3ヶ月の修養期間を修了後は、大教会での修養科修了講習会を受講し、5月29日の昼食後に解散。

* 教 科 書 (必須)

『おふでさき』、『みかぐらうた』、『天理教教典』、『稿本天理教教祖伝』、『よふぼく手帳』。

* 参 考 書 (出来れば持参)

『おてふり概要』、『なりもの練習譜』(笛・打楽器または三曲)、『おやしき・史跡案内』。

* 携 行 品

おつとめの扇、筆記用具、認印、笛(男鳴物の講義で笛と小鼓の内、笛を選択する人のみ)。

* 服 装

ハッピー及び帯・バンド、長ズボン(又は、それに類するもの)、靴。

書 類	大教会	詰所	備 考
「順序参拝票」	○	○	
「別 席 願」	○	○	・「初席願」の順序参拝がまだの者で、修養科入学後に初席を運ぶ者のみ。
「席 札」		○	
「別席のしおり」	○	○	・願書に日付を入れない事。
大教会 御供	○		・おさづけの理拝戴願の順序参拝も合せて行なう。
本 部 御供		○	・「別席の誓いの言葉」は別席の誓いの日までに覚えること。
「おさづけの理拝戴願」	○	○	・「おさづけの理拝戴願」の順序参拝がまだの者のみ。
「おはなし」	○		・願書に日付を入れない事。
大教会 御供	○		
本 部 御供		○	
「修養科入学願」		○	・御供は任意であるが、慣例により、200円以上。
「修養科入学事由書」		○	
修養科入学御供	○		
「住民票」または「戸籍抄本」		○	・「戸籍記載事項証明書」、「身分証明書」でもよい。

十二月月次祭祭文

これの笠岡大教会の神床にお鎮まり下さいます

親神天理王命の御前に 会長上原理一 慎んで申し上げます

親神様の子供かわいい一条の親心溢れる御守護とお導きを

を頂いて 日々は結構に恙なくお連れ通り頂きます事は

誠に有難く勿体ない極みでございます

私共は親心と御守護を感じつつ喜び一杯の内に御

恩報じを念じ たすけ一条の御用に勤め励ませて頂

いておりますが 気が付けば早立教百七十一年の今

年もあと十日を残すのみとなりました 振り返って

みれば世上では局地的集中豪雨や記録的な猛暑 又

世界的な経済破綻等 天災・人災に苦しんだ一年

であり 大きな心の変化を求められた一年であり

ました そんな中 先んじて変革の道を歩み始め

た笠岡の道は 昨年同様教祖百三十年祭に向けて「お

つとめ奉仕者の増員」を目標に年毎の心定めをし 日々の真

実の理作りを積み重ね 又昨年に加えておぢばへの伏せ込みひ

のきしんも申し合わせて 御恩報じの道怠る事なく歩ませて頂

いてまいりました 教祖年祭に向けての成人の歩みもまだ二年目と

いう事もあり まだ身に付いたと言える程の歩みではないかもしれませ

んが 滞りなく勤めさせて頂く事が出来ました事は誠に有難く心より御礼申

し上げます 只今からおつとめ奉仕者一同喜び心も一入に 明るく陽気に勇



んで一手一つに坐りつとめてをどりをつとめて 十二月本年納めの月次祭を執り行わせて頂きます

御前には年の瀬の慌ただしさも厭いませず 今日の日を楽しみに寄り集

いました道の子供達が相共に声高らかにお歌を唱和し

言改めて一年間の御礼を申し上げる状を御覧下さい

まして親神様にもお勇み下さいますようお願い

申し上げます

さて年が改まれば 教祖年祭に向かう中間

点の大きな山場創立百二十周年に向けての三

年千日仕切つての成人の歩みを始めさせて頂

きます その歩み出しをより確かなものにする

為にも 親神様教祖にお喜び頂けた一年で

あったかどうかよく思案を重ねて 本年の成

人の歩みを悔いの残らないよう歩み切らせて

頂く所存でございます

何卒親神様には経済の大嵐の中 踏ん張って

たすけ一条に真実を尽くす皆の誠真実の心をお

受け取り下さいます 万たすけの御用の上に鮮や

か自由の御守護を賜り 荒びがちの人々の心を明るく希望

に満ち溢れた心に立て替えて下さいます 陽気ぐらし実現に向かう晴れ

やかな新年を迎えさせて頂きますようお連れ通りの程を 一同と共に慎ん

でお願い申し上げます

大教会だより

◎第809期修養科

自 立教171年9月1日
至 立教171年11月27日

*教 養 掛

- 三ヶ月間 谷内 伸 自 (輝美濃分教会長)
- 一ヶ月目 三代 信 行 (米美分教会長)
- 二ヶ月目 藤 井 保 人 (福東分教会長)
- 三ヶ月目 貞 清 知 実 (三郡分教会長)

*修 了 者

- 呉 照 大西 亮 司
- 神 昭 渡 辺 剛
- 稲 富士 須 毛 田 充 教
- 新 山 邑 三 島 ま さ よ
- 稲 倉 林 岡 い ず み
- 稲 富 士 須 毛 田 祐 美 子
- 瑞 雲 西 村 總 子
- 照 雲 岡 本 由 美 子
- 呉 中 江 川 美 知 子

◎教会長資格検定講習会修了者

後期 立教171年12月19日終講
多古浦 余 村 元

◎本部営繕ひのきしん

自 立教171年12月1日
至 立教171年12月20日
瑞 雲 豊 田 俊 美



正月三カ日、暇に任せて昨年の「かさおか誌」を一月号より順に読み返してみました。感じた事を勝手ながら三点程記させて頂きます。

◇表紙の版画が素晴らしい

横山逸郎氏(東城分教会長)の本部に関連した建物を中心に見事な造作の一部を版に刻まれ素晴らしい作品に仕上げられています。私見ですが3月号の「千木と堅魚木を

モチーフした鬼瓦」の作と10月号の「春秋大祭の日」の作等が好きな作品です。前者は細かい彫りと大胆な彫りとの調和の描写が素晴らしいと感じる。また後者は幟のひらめきを見事にとらえ、風になびく幟の音が聞こえて来るような作品である。

12ヶ月、毎月の作品をカレンダーに作成して頂ければ各教会とも天理教らしいカレンダーで教会も華やぐのでは・・・(勿論有償)

◇後継者講習会、好評裡に終わる

30次に亘り開催された後継者講習会も好評のうちに終わりました。笠岡では「修了者の集い」が昨年の11月24日と今年6月1日に開催され、「熱いうちに打つ」集いも好評でした。終了者の感想文を読ませて頂きましたが、各々その人なりの決意を實行しているようです。しかしこのまま各人に任せては時間と共に薄くなってくる気がします。毎年、1日ぐらい「後継者の集い」を開催する必要はない

でしょうか・・・?

◇4回目開催となった親善スポーツ大会に思う

今年のソフトバレーは怪我人が出たようですが事なきに終わったようです。年齢別の運動にあったスポーツ種目を検討されてはどうでしょうか・・・?

- 20代〜30代
- ・・・男女参加 ソフトボール
- 40代〜50代
- ・・・女子 ソフトバレー
- 60代〜
- ・・・男女参加 グランドゴルフ

以上、失礼をもちきまえず感じた事を書かせて頂きました。悪しからず・・・ (き)

